



日本昔

エロばなし

『幽霊の酒盛り』

池竜静留
Shizuru_Iketatsu

成年
コミック



むかしむかし
あるところに

一軒の骨董屋が
ありました

女の幽霊が描かれている
掛け軸に目がとまり

あ、あれは
いくらだ!?



主人夫婦が留守の間は
いつも甥の忠兵衛が
店番をしていたという

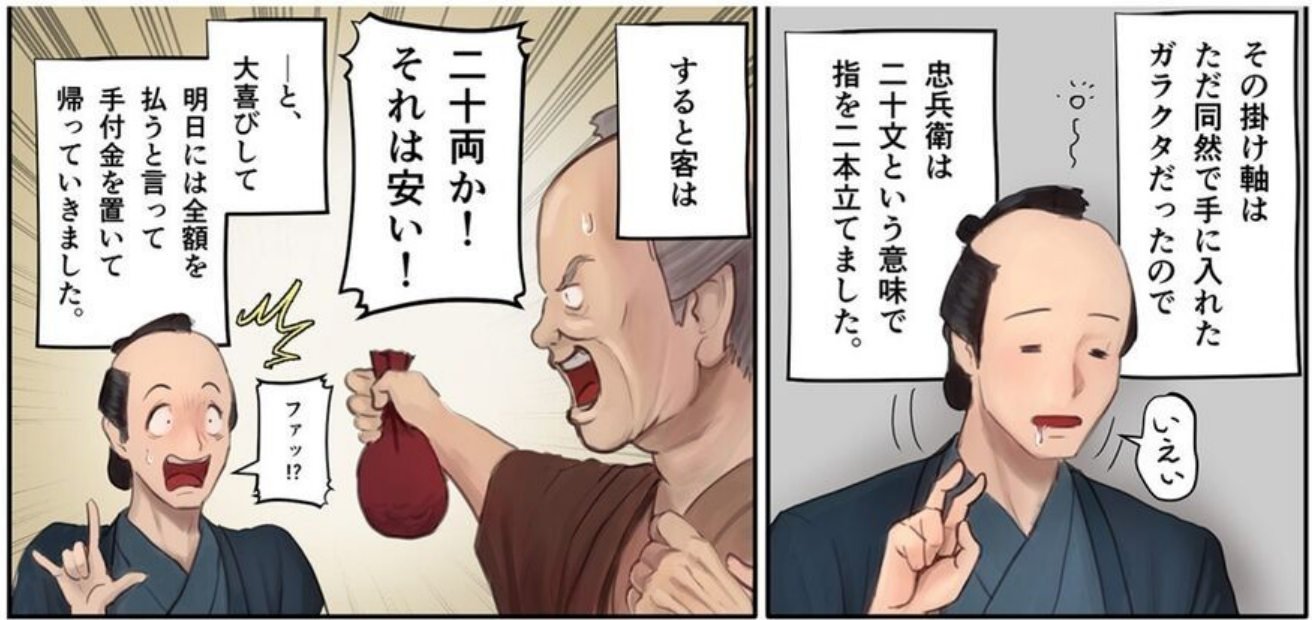
ふあ〜あ

その日は
珍しい掛け軸を
探している男が
訪ねてきていた

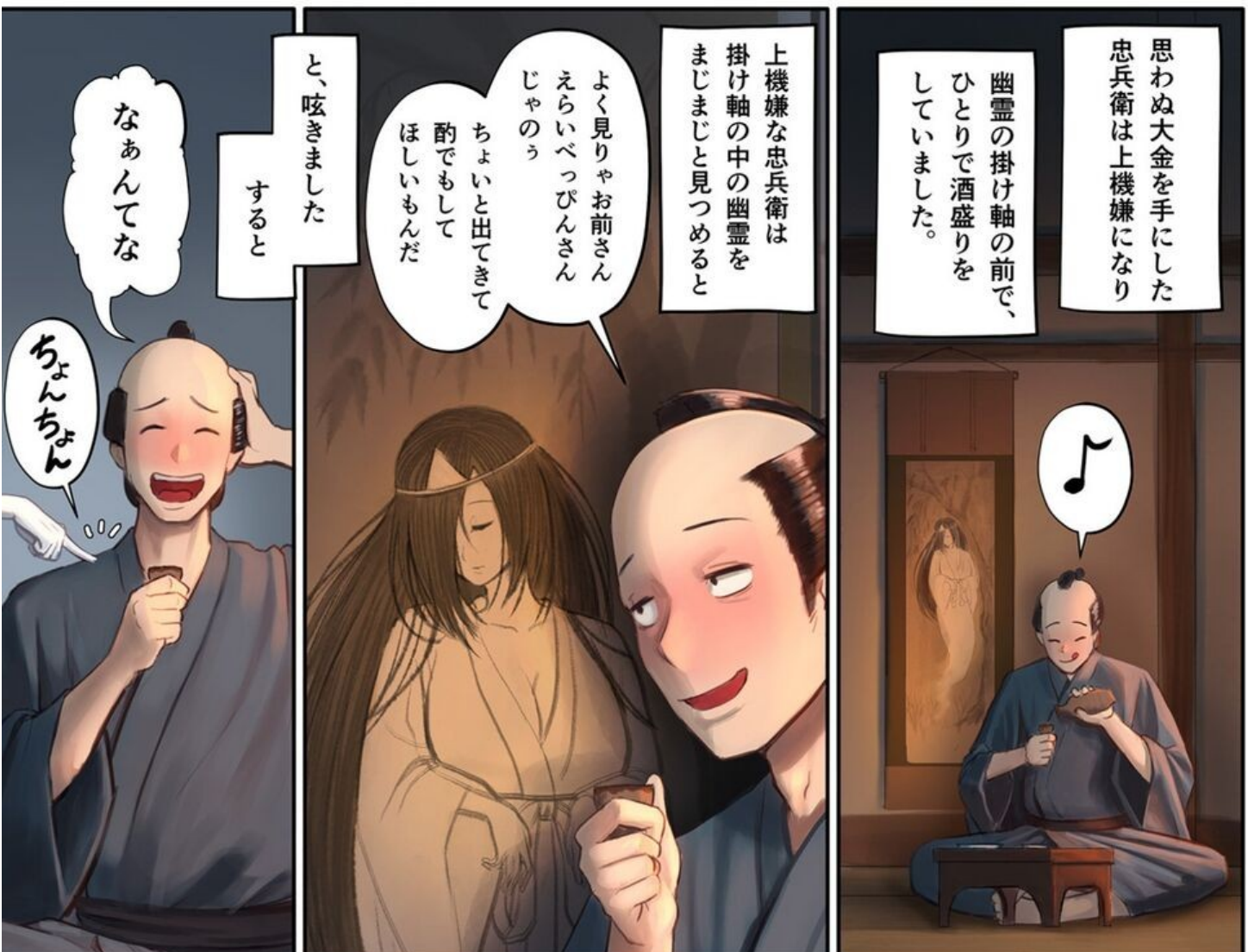
—と、
忠兵衛に尋ねました。

すると—

んっ!?



※江戸時代中期の一文は現代価格で約12円、金一両は約7万5千円ほど



ひゅーぞろぞろ

なんと

本当に掛け軸から
幽霊が出てきました。

うひゃあ!!

美人とおだてられて
すっかり上機嫌になった
女幽霊は酌をしに
絵から出てきたのだった



幽霊を前にして
最初は怖がっていた
忠兵衛

しかし
なんとも
単純な話で

せあせあ
どうぞどうぞ
トク トク

幽霊の美しさに
恐怖感などすぐに
薄れてしまい――

あつとう間に照れも
酔いもまわって



鼻の下を伸ばして
デレデレになっていた

うふふ
もう
まっかっか♡

さつきから
ひんやりした乳が
当たるとる……

ポロポロ
チン



今剥かれたら
ヤベェんだって！

あつ ちよツ
あーら たいへん！
気が違うなって！
自分で
着替えかっら！



たはは...

だから
いいつつたんだよお
お前さんが
乳を押し付けてくる
もんだから
勃ちちまって...

ここ
ここ
ここ
ここ
ここ
ここ
ここ
ここ
ここ
ここ



ギョッ

ボッキン



おうっ!?

ちゅる



しかし
女幽霊も
酒の匂いで酔ったのか
生命力溢れる男の
気にあてられたのか

♡♡



思わぬ出来事に
女幽霊もビックリ

すごい大きい...♡

忠兵衛の
無駄にでかい魔羅を
舐^{ねぶ}りはじめた

ちよッ
おまつー

はへええ!!?

チュ♡

チュ♡



この刺激に
童貞の忠兵衛が
辛抱できる
はずがなかった

うおおお
ダメだッ

射精るッ

グッ
グッ
グッ

女幽霊の尺八^{フクラ}は
冷たいがねっとり
いやらしく

根本まで摩羅をくわえて
蠢く舌と喉の締め付けで
執拗に吸い上げた

命の味がするう♡

ん♡





いっ飲みっぶく♡



グズバババ



キゅっ♡



しゅろっ



びゅん

とってき
上手♡

びゅん

じゃっ
ぞぞぞぞ

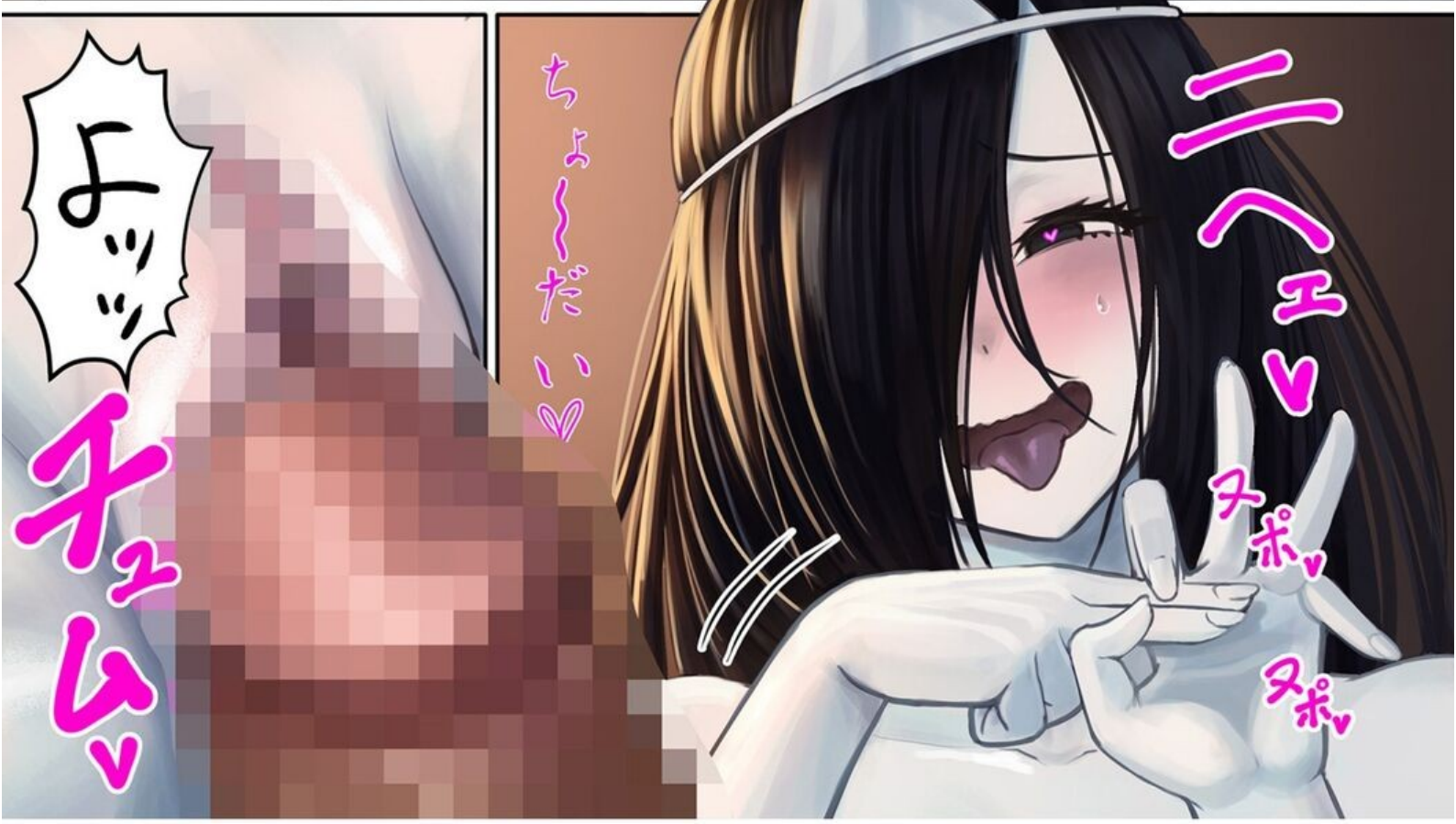


挿入いれて
いいよな?
お前さんも
したいんだよな!?

クソツ
こんないい女前にして
辛抱なんてできねえよ



ベネー



ふっ
チュム

ちよ〜だい♡

ニへエ
又ポ
又ポ

膣内はひんやり
してるけど

キョソソソ

タチ

キョソソソ

いぢぢ

ぬるぬるのヒダが
個別にうねって

子宮口が
精液をねだって
吸い付いてくる!!

最っ高にキモチイイ!!!

じゅぽ

じゅぽ



んおおお

深い♡

ぽん♡

ぽん♡

もっとだ
もっと奥へ！

グ

チャッ♡

子宮が

潰れちゃう♡

グ
グ

こんなべっぴん
抱ける機会なんざ
もう二度と来ねえ
かもしれねえ！

根元までぶち込んで
味わい尽くしてやる！

フグチュ♡

フグチュ♡

ゴッホ♡

らめと♡

これ以上

ねじ込まれたら

子宮にいっ○っ

フグ♡

フグ♡



ボ
ゴ



ア

ク

~~~~~  
♡♡



孕むくらい  
射精してやる!!

決めた!!  
膣内に射精す!!

ギョウウウ



うおおおッ!!  
子宮の中ふわとろで  
たまんねえ!!!

チ



最後の一滴まで  
中出ししてやる!!

オオおおおッ  
射精るツツ!!!

いぐっ♡いぐっ♡  
いぐっ♡いぐっ♡



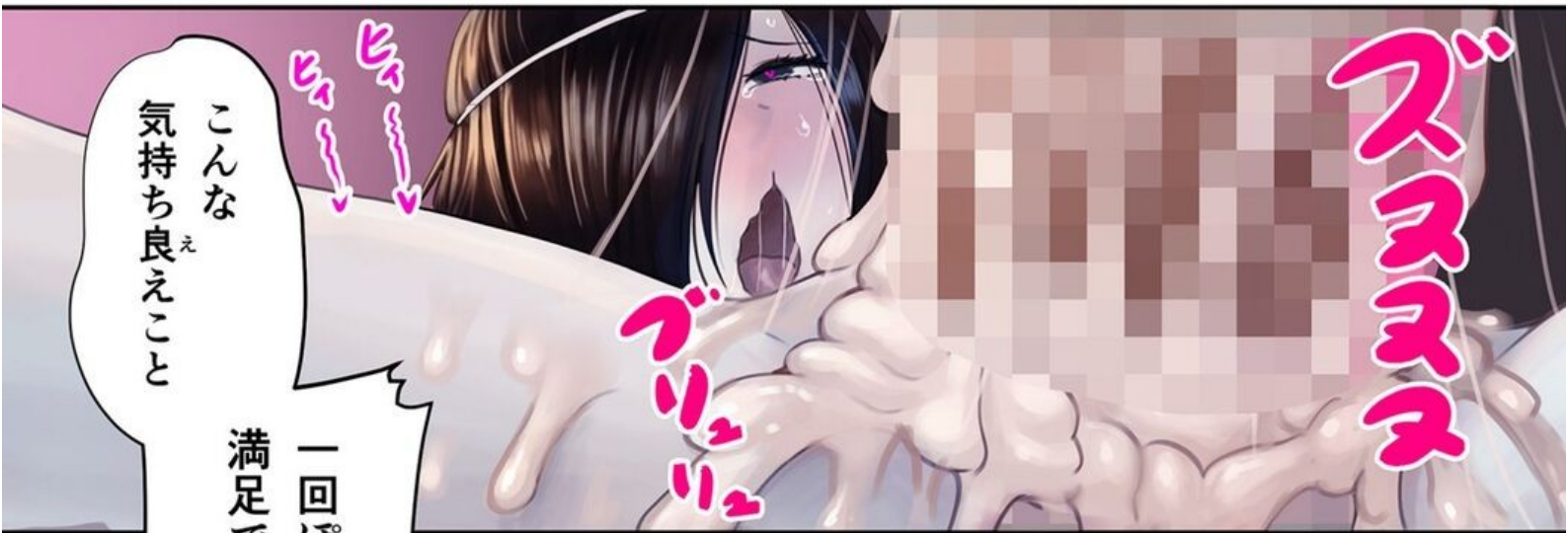


おおおお  
これが種付  
最っ高だぜ!!

ビュッ

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ  
ポッ  
ポッ

ビュッ



こんな  
気持ち良えこと  
一回ぽっちで  
満足できんわッ!!!

ビュッ  
ビュッ

ブルブル

ブルブル



おほおほ

ズッ

ポッ

ズッ

ズッ

ビュッ



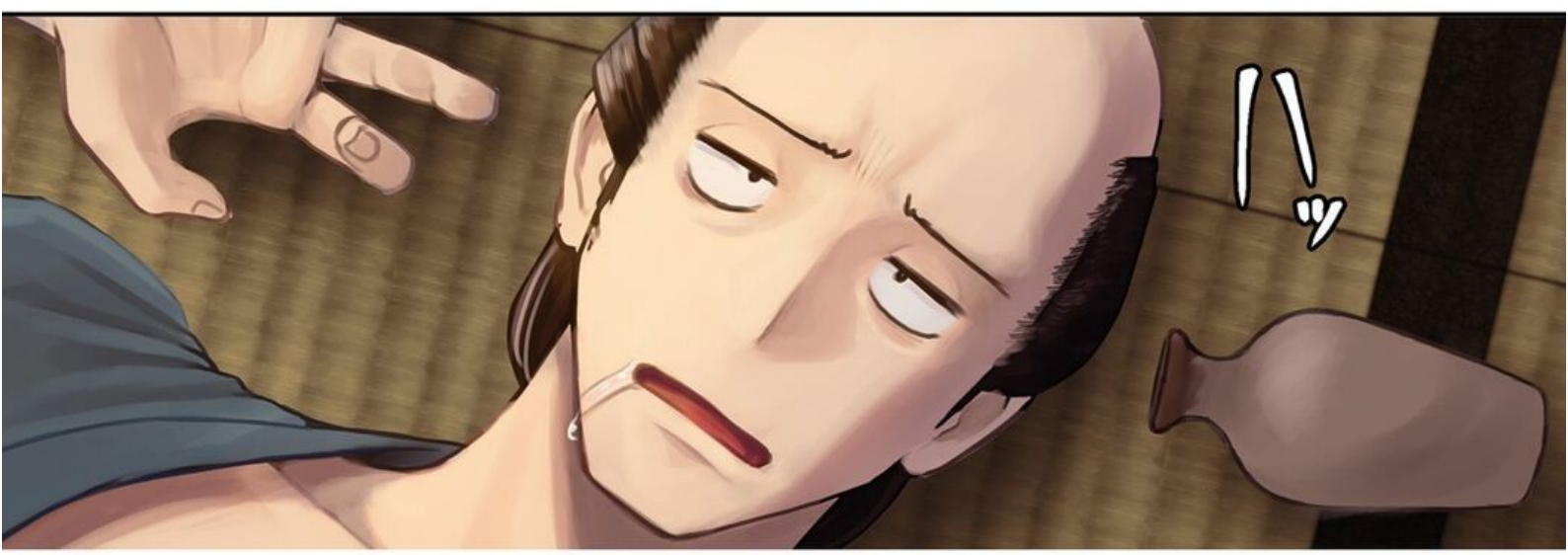
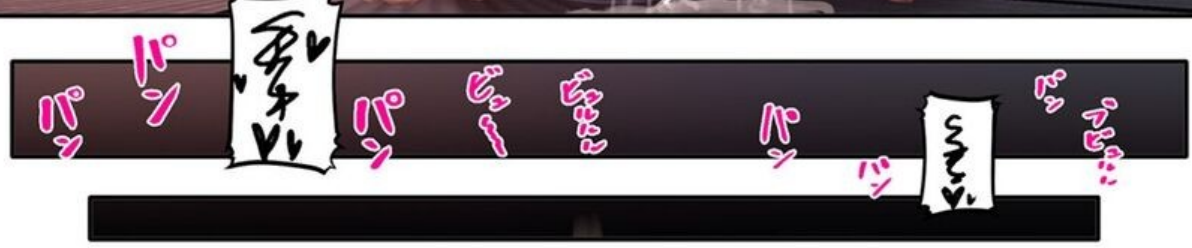
二十年間ずっと溜め込んできた特濃精液を全部受け止める!!

ほぐあめ



うおおおッ  
また射精る!!

いくらでも射精るぞおッ!!



気がつくと  
朝になっていた

ムウリ



あれは夢だった  
のだろうか……

忠兵衛は  
そう思いながら  
掛け軸に目をやった

……

ボリボリ



あっ



夢などではなかった

一晚中種付けされて  
精液ボテ腹にされた  
女幽霊は掛け軸の中で  
眠ってしまった



これはいかん！

女幽霊が精液ボテ腹  
のまま寝てたら  
大金の話がペアに  
なってしまう！

はやく起こして  
精液を掻きださねば  
と忠兵衛は焦った

……が

……






---

# 日本昔エロばなし(1)『幽霊の酒盛り』

著者 池竜静留

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

---